

ふっさ 市議会だより

No.239 令和6年10月25日 発行 / 福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



X(旧Twitter)



Facebook



▲公民館本館まつりの様子

令和6年
第3回定例会
9月3日～9月27日

令和5年度 各会計決算を認定

「多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書」を提出

令和6年 第3回定例会

令和6年第3回定例会は、9月3日から9月27日までの会期25日間で開催されました。条例の一部改正や補正予算など、市長提出議案14件、委員会提出議案1件が審議されました。また、17名の議員による一般質問が行われました。市民等から新たに提出された陳情3件及び継続審査となっていた陳情1件は、不採択となりました。

委員会提出議案第1号 多様な人材の地方議会への参画促進を 求める意見書

社会経済の急速な構造変化を背景に、地方公共団体の重要な意思決定を行う地方議会は、多様な民意の集約と地方行政への反映が期待されており、その果たすべき役割と責任は重要性を増している。

このため、若者や女性、会社員など多様な人材の地方議会への参画を促進し、議会を活性化することは、多くの地方議会に共通の重要な課題となっている。

しかしながら、最近の地方選挙においては、女性議員の躍進が見られる一方で、投票率の低下や無投票当選者の増加など、議会への関心の低下や議員のなり手不足が深刻化している。安心して議員に立候補し、議員活動を続けることができる環境を整えることは、多様で有為な人材の確保に大きく寄与すると考える。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、次の事項について早急に実現するよう強く要望する。

1 地方議会の役割等が明確化された地方自治法の改正を踏まえた主権者教育を一層推進すること。

2 立候補に伴う休暇制度や議員活動のための休職、任期満了後の復職など、会社員が立候補しやすい環境を整備するとともに、厚生年金へ地方議会議員が加入できるための法整備を図ること。

3 政治分野における男女共同参画の推進を図るため、議員活動と出産・育児、介護等の両立やハラスメント防止のための取組に対して支援すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
(提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長)

● 主な内容 ●

- ◆一般質問(要旨) …… 2～4面
- ◆令和5年度決算審査 …… 5面
- ◆議案の審議結果 …… 6面
- ◆可決等された案件 …… 6面
- ◆委員会の審査 …… 7～8面
- ◆特別委員会活動 …… 8面

◆ 会議の 開催状況と 審議日程 ◆

27日	▼8月	議会運営委員会
3日	▼9月	本会議1日目
4日		議会運営委員会 本会議2日目
5日		総務文教委員会 本会議3日目
6日		議会運営委員会 本会議4日目
10日		決算審査特別委員会 全員協議会
11日		決算審査特別委員会 1日目
12日		決算審査特別委員会 2日目
13日		決算審査特別委員会 3日目
17日		建設環境委員会 4日目
18日		市民厚生委員会
19日		総務文教委員会
20日		横田基地対策特別委 員会
24日		議会運営委員会 本会議5日目
27日		全員協議会 議会運営委員会
15日	▼10月	議会運営委員会

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は11月上旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



福生市議会HP
(通告一覧へ
リンクします)



議員BOOK
(各議員の過去の
一般質問や
会議録をご覧
いただけます)

行政改革の取組について



正和会
佐藤 弘治 議員



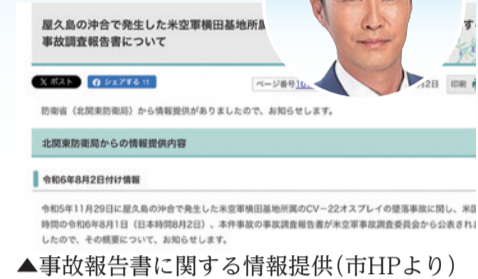
質問 市内には郵便局が複数あり、窓口業務等で市と連携できると非常に有効であると考えますが、日本郵政との連携について市の所見を伺う。
市長 平成29年1月にあきる野郵便局との間で「地域における協力に関する協定」を締結しており、高齢者や子どもの見守り等、市民が安心

して暮らせる地域づくりや災害時の協力体制を整えている。本市でも、6か所の郵便局が地域に密着した業務を行っており、今後も必要に応じて連携を図っていききたい。

横田基地について

質問 CV-22オスプレイの墜落事故に関する事故調査報告等につい

て市の所見を伺う。
市長 本年8月2日に事故報告書の情報提供及び説明を受けたが、十分な説明であったとは考えていない。今後も事故に関する情報のみならず、市民に影響のある事柄について迅速かつ正確な情報提供を行うよう、国及び米軍に対し強く求めていく。



踏切道の改良及び周辺整備について



公明党
原田 剛 議員



質問 市内にはまだまだ改善が進まない踏切があるが、福生第二号踏切以外に踏切道改良促進法の指定対象になるのはどのような踏切か。
市長 法令等に定めのある改良すべき踏切道の指定に係る基準のいずれかを満たすもので、主な例は自動車ボトルネック踏切、開かずの踏

切、歩道狭あい踏切、通学路要対策踏切、事故多発踏切など、交通量や事故の発生状況、その他の事情を考慮して国土交通大臣が指定するものである。

水泳指導の外部委託と学校プールについて

質問 市内小・中学校の水泳指導の外部委託に関する取り組み状況は、

教育長 令和6年2月に水泳指導の外部委託化モデル事業実施計画を策定し、令和6年度より福生第六小学校と福生第三中学校の2校で水泳指導の外部委託化モデル事業を開始。今後は、9月から12月の実施状況を踏まえ成果と課題を整理し、令和7年度指導計画の立案に生かしていく。



新型コロナウイルスワクチン定期接種における市の対応について



正和会
小澤 芳輝 議員



質問 新型コロナウイルス感染症は今後も感染拡大への警戒が必要だが、令和6年度秋冬開始予定とされている新型コロナウイルスワクチン定期接種について市の対応を伺う。
市長 令和6年度以降の新型コロナウイルスワクチン接種は、予防接種法に基づきB類疾病の定期接種と

して実施されることになった。これを踏まえ本市では、特に高齢者の重症化を予防するための定期接種事業として実施する。定期接種対象者は、65歳以上または60歳以上65歳未満の心臓等に障害を有する方とし、自己負担額は生活保護受給者等を除き3500円(9月6日発表の都補助を活

用し2500円へ変更)とする予定。集団接種ではなく指定医療機関での個別接種を実施する。また、西多摩8市町村内の指定医療機関であればどこでも接種できるよう調整を進めている。引き続き今後の感染状況を注視するとともに、本事業を着実に推進し感染症予防に努めていく。



児童発達支援センターについて



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 令和6年4月に開設した福生市児童発達支援センターの相談支援、児童発達支援、地域支援の3事業の現在の状況と、スタートして5か月で見えてきた課題や今後の進め方、体制づくりの方向性等を伺う。
市長 18歳未満の児童と保護者を対象とした相談支援では、周知が進

み相談者は増加している。満3歳から就学前児童を対象に集団療育を行う児童発達支援では、保育施設等と併用し、週2、3回の通所者が多く、利用希望者も増えている。関係機関との連携や家族等への支援などを行う地域支援では、6月に保護者・保育者向けの講習会、8月に保育者対

象の研修会を実施した。今後の課題は、児童発達支援センター本来の目的を押さえつつ、通所時間など利用者の利便性等にも配慮した事業を展開していくこと、児童発達支援センターが地域の中核機関としての機能を発揮し、さらに充実した連携体制を構築していくことと考えている。



道路の維持補修について



正和会
清水 義朋 議員



質問 人や車などが円滑に移動するための重要なインフラである道路について、近年、亀裂や路面の剥がれなどの劣化が少なくない状況にあると思うが、道路の維持や補修の状況はどのようになっているのか。
市長 本市では、現在、国土交通省が示す道路ストックの総点検実施

要領に基づいた路面性状調査や路面下空洞調査など、種別ごとに道路ストック点検を実施している。その点検結果に応じ、緊急的な対応が必要な箇所、予防保全的な対応が必要な箇所に仕分けし、緊急度に応じた道路補修に取り組んでいる。今後も安全で円滑な道路交通の確保を図るた

め、道路維持計画に基づいた道路改修工事を計画的に実施していくとともに、道路パトロールや道路通報システムの活用等を通じて、道路や交通安全設備等の破損といった危険箇所の補修についても迅速に対応するなど、引き続き適切な道路管理に努めていく。



AEDの個人所有等について



正和会
森田 哲哉 議員



質問 AEDの普及促進として、家庭や個人が所有しやすいよう購入費を補助する施策は考えられないか。

市長 本市では、貸出要領を定めイベント等へのAEDの貸し出しを行っている。個人所有は救命率の向上にはつながるが、所有へのニーズや費用面から補助制度は難しいと考

える。今後も講習機会の確保や設置箇所の周知等、啓発を進める。

市における平和事業の推進について

質問 市としての今後の平和事業の推進について伺う。

市長 「平和のつどい」で戦争を体験した市民の方の講演や生涯学習推進課の企画展示「戦争資料展」など、

様々な取り組みを行っているが、戦争体験者の高齢化により実相を伝える機会が減少しており、平和のつどいでは高校生が司会や意見発表を行うなど、次世代が平和を考える機会とするための転換を図っている。今後も市民一人一人が平和を願い行動できるように意識の醸成に努めたい。



▲生涯学習分野合同平和事業の様子

特定不妊治療の助成について



正和会
仲間 正司 議員



質問 令和4年4月より特定不妊治療が公的医療保険の適用対象となり、その後、令和6年度より福生市特定不妊治療費(先進医療)助成事業が開始された。その内容とこれまでの実績を伺う。

市長 本市では、子どもを望む方の経済的負担軽減を図るため、保険

診療である特定不妊治療と併せて実施した先進医療について、東京都の特定不妊治療費(先進医療)助成に上乗せして医療費の一部助成を行っている。都の助成が決定した方は、保険適用外の先進医療費用の10分の7について、15万円を上限に都から助成されるが、市は残りの10分の3に

ついて、1回の治療につき5万円を上限に助成する。実績は、令和6年8月1日時点で1名、3件分で計5万1350円を助成。実際の治療実施から都の承認まで時間を要することや、複数回の治療をまとめて申請する場合もあることから、今後、申請件数は増加するものと考えている。



第74回福生七夕まつりについて



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 今回の福生七夕まつりの評価や結果、所見等を伺う。

市長 5年ぶりに開催した民踊パレード、みこし・山車パレードなど、コロナ禍で見合わせていた各種イベントを全て再開し、盛大な福生七夕まつりが復活した。来場者数は38万5800人で、これは平成以降3日間の

人数としては最多。飾りつけや市民模擬店などがまちのにぎわいを創出し、七夕織姫コンテストなどのイベントも盛り上がる中、無事に3日間を終えた点でも、大成功に終わったと評価している。

郷土愛の醸成と民踊パレードについて

質問 一部の学童クラブや小学校

が民踊パレードに参加したが、子どもたちへの周知方法について伺う。

市長 今回の民踊パレードは5年ぶりの開催であるため、前回の参加団体には個別に通知と電話にて依頼を行った。参加のあった学童クラブと小学校も前回の参加団体だったため、同様に依頼しご参加いただいた。



▲福生七夕まつり民踊パレード

環境政策について



公明党
堀 雄一朗 議員



質問 連日市内でイノシシの目撃情報が出るが、本市の対策を伺う。

市長 イノシシの目撃場所は多摩川河川敷や河川敷近隣の公園で、人に慣れて警戒心がなくなり、恒常的に居つくことを心配している。そのため、通り道の可能性がある箇所の草木を刈るなど、生息地域を減少さ

せ、容易に人間の生活圏に近づけない環境の整備を進めていきたい。

子宮頸がん予防について

質問 5年に1回の検診で済み、費用が現行の細胞診の約半分で済むHPV検診の導入への所見を伺う。

市長 HPV検査単独法は、国の指針の改正で今年度から導入された。

細胞診単独法の2年に一度の検診に比べ受診者の負担軽減や受診率向上が期待できるが、偽陽性者が多く、医療現場の負担や期待される効果が得にくい等の指摘もある。市内の医療機関でも慎重な意見があり、実施する段階にないと考える。現行の検診を着実に実施し予防に努めていく。



第59回福生ほたる祭について



正和会
小林 貢 議員



質問 今回新しい形で実施した結果、見えてきた課題や節目となる第60回の開催の方向性を伺う。

市長 大成功に終わったと考えるが、一方で来場者数が想定をはるかに超え、ほたる公園が混雑した。また、蛍の羽化が早く、祭りの当日に飛翔する姿を十分にご覧いただけなかつ

た。今後、実行委員会で十分に協議し、さらにご満足いただける祭りとなるよう、最大限の支援を行いたい。

全国瞬時警報システム(Jアラート)について

質問 運用内容の概要等を伺う。

市長 Jアラートは、弾道ミサイル情報や緊急地震速報等、対処に時間

的余裕のない事態に関する情報を国民に瞬時に伝達するシステムで、地震や津波等は気象庁から、弾道ミサイル情報は内閣官房から、消防庁のシステムにより人工衛星等を通じ自治体に送信される。本市では、庁内の受信機で受信し、自動的に市内防災行政無線で放送を行っている。



▲福生ほたる祭の様子(ほたる公園)

親子交流及び養育費の受取支援について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問 共同親権が選択可能となることを含めた民法等の一部を改正する法律が成立され、親子関係の維持と子どもの福祉が一層保障されることが期待される。本市では親子交流の円滑な実施や養育費の確実な受け取りをどのように支援しているのか。

市長 母子・父子自立支援員等に

よるひとり親家庭相談、離婚による経済上の問題や養育等の悩み事がある方には、弁護士等の助言を受けられる東京都ひとり親家庭支援センターや、こども家庭庁の養育費等相談支援センターをご案内している。

空き家対策について

質問 本市の空き家解消の取組

みについて伺う。

市長 職員による現況把握のための調査や、空き家の所有者に対する適正管理の呼びかけを行うとともに、民間業者との協働による所有者向けの情報発信や、老朽化した空き家の所有者に対して除却に係る工事費用の助成を行っている。



防災行政について



公明党
川崎 善友 議員



質問 国は、災害時に自力で避難することが難しい住民に対し、自治体として個別避難計画を作成することを努力義務としている。本市における作成状況について伺う。

市長 風水害による避難情報を発令する可能性が高く、かつ土砂災害警戒区域等も含んでいる南田園及び

北田園地区に居住する避難行動支援希望者を優先し、計画の作成を進めている。今年度は、対象者65名に対し調査票を送付し、調査票の回収や実際のご家庭の状況を聴取するなど、実効性のある個別避難計画となるよう進めている。

質問 富士山が噴火した際の本市

の降灰対応について伺う。

市長 噴火が起きた場合、風向き次第では降灰対応が必要となる可能性がある。その際は、気象庁等の情報を収集しつつ、福生市地域防災計画に基づき、関係機関と連携し火山灰の除去や運搬、処分、避難対策や道路等交通機関の復旧対策を講じる。



▲四地区合同水・防災訓練の様子

本市の入札・契約制度について



正和会
幡垣 正生 議員



質問 市内事業者の受注機会を確保する措置の現状について伺う。

市長 福生市指名競争入札参加者指名基準の規定では、市内事業者を優先的に指名できることとしている。また、総合評定値(P点)の地域要件の設定では、市内事業者の要件を最も緩和している。加えて、市内事業

者には市が発注する同種の工事の元請としての実績の有無を問わないこととするなども受注機会の確保に寄与するものと考えている。

選挙に関する取組について

質問 デザインの入った投票済証の発行の経緯や用途について伺う。

選挙管理委員会事務局長 近年、

自治体が発行するマンホールカードなどが盛り上がりを見せており、本市においても、投票への関心を高めるきっかけづくりとして、令和5年からデザインを盛り込んだ投票済証を発行している。用途としては、個人の投票の記録及び記念としてコレクションを念頭に掲げている。



▲都知事選で配布した投票済証

防災行政について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 災害が発生した際に、子どもが生活しやすい場所とするため、子ども目線の避難所をどのように運営するか、本市の所見を伺う。

市長 福生市地域防災計画では、乳幼児とその保護者など配慮が必要な方への対応として、通常の避難所以外にも必要に応じて、協定に基づ

き福祉避難所や社会福祉施設、民間賃貸住宅やホテル等を二次避難所として借り上げるなど、多様な避難所確保に努めるものとしている。また、通常の避難所においても、自主防災組織等を中心とした住民組織が自主的に運営ができるよう、避難所運営組織を立ち上げ、子どもたちが過ご

すことのできるスペースづくりや、物資の確保等に配慮した避難所運営に努めるものとしている。災害時の混乱の中でも「子育てするならふっさ」「こどもまんなかふっさ」は変わるものではない。今後も子どもたちを守り育てていくための方策を研究していく。



米軍横田基地について



日本共産党
市毛 雅大 議員

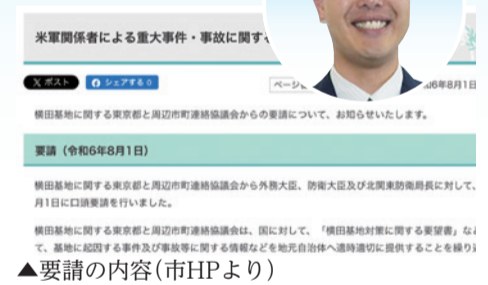


質問 8月1日付で米軍関係者による重大事件・事故に関する情報提供があった。本市が把握している情報について伺う。

市長 7月24日の新聞報道にて、東京都内で2021年から2023年に米軍関係者による性犯罪の摘発が少なくとも3件あったが、都に通報されて

いなかったことが報じられた。これを受け、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、犯罪が横田基地関係者によるものかは不明であるが、基地周辺住民の不信につながりかねないため、情報提供の徹底を国に対して要請した。また、本市から北関東防衛局に対し、横田基地所

属の米軍関係者による事件で非公表となっている事案の有無について確認したところ、情報提供があった場合は、全て地元自治体に対して伝達してきているとのことだった。引き続き、東京都や横田基地周辺自治体とも連携しながら、国に対して適時適切な情報提供を求めていく。



▲要請の内容(市HPより)

学校給食について



日本共産党
伊藤 広美 議員



質問 学校給食費の保護者負担がなくなったのは良いが、この物価高騰で食品の質や必要なカロリーなどが確保できているのか。現状を伺う。

教育長 令和4、5年度は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、安定した給食提供を継続した。福生市学校給

食センター運営審議会に諮り、令和6年度は、給食費引き上げの改定を行い、賄材料費の増額に対応した。また、文部科学省の基準に基づき必要な栄養価を確保した献立作成を行うと共に、国内産原料のもの、不要な添加物を使用しないものなど、福生市学校給食用物資規格基準により

安全性を保った上で、安価で良質な食材の活用や一括購入等、最大限の工夫を行っている。今後も食材の高騰が継続する見込みが高く、創意工夫だけでは対応できなくなる可能性がある。必要に応じ適切に賄材料費の確保に努め、質を落とすことなく、安全・安心な給食の提供に取り組む。



▲学校給食の一例

犯罪被害者等への支援について



公明党
青木 健 議員



質問 本年4月、犯罪被害者や遺族の精神的負担を軽減するため、犯罪被害者等支援弁護士制度の創設などを盛り込んだ改正総合法律支援法が可決、成立した。東京都も犯罪被害者等支援条例を制定し、支援事業が展開されている。本市の犯罪被害者等への支援について伺う。

市長 本市では現在、犯罪被害者に特化した相談窓口や支援等は実施していないが、都や警視庁、法テラスの犯罪被害者相談を案内している。令和5年6月、内閣府の犯罪被害者等施策推進会議で、「犯罪被害者等施策の一層の推進について」が決定、国から地方における途切れない支援

の提供体制強化に取り組むよう通知された。本年9月からは全国で、警察庁が初めて全国犯罪被害者等支援実務者会議を実施する予定である。今後も情報収集を行うとともに、国や都、市町村の動向を注視しながら、ご相談を受けた際は、被害者等に寄り添った対応に努めたい。



▲相談窓口のパンフレット

令和5年度決算の概要

地方公会計制度に基づく財務諸表などを活用した一般会計決算を4日間集中審査

一般会計決算は、17名で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査しました。
また、特別会計決算は市民厚生委員会、企業会計方式の下水道事業会計決算は建設環境委員会が審査し、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

令和5年度決算の特徴点について

主な内容を伺う。

問 一般会計の歳入は321億7900万円、令和4年度と比べ物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の皆増などにより20億4700万円、6.8%の増。歳出は310億4000万円、物価高騰対策である住民税非課税世帯物価高騰支援給付金(追加支給分)給付事業の皆増、中央図書館改良事業の増などにより前年度比25億8900万円、9.1%の増となった。

人権啓発活動について

問 令和5年度の取り組み内容を伺う。

答 小学生向けの法務省の事業として、協力して花を育てて生命の尊厳や感謝することの大切さを学ぶ「人権の花運動」を福生第一小学校で実施した。また、子どもたちの心の成長と大人が子どもたち

4事業の委託で会計年度任用職員人件費が減少となった。物件費は、委託料が人件費を上回る増加だが、教育や労務管理等の経費も大幅に削減し、欠員補充ができない状況の回避や繁忙期の人員増など、弾力的な運用により安定した窓口業務の運営ができるようになった。また、委託により職員の負担が緩和され、窓口の効率的運用やDX推進等の検討に目を向けられるようになった。

せせらぎ遊歩道公園整備事業について

問 整備工事の予算執行率が低い理由を伺う。

答 整備工事の予算執行率が低い理由は、その理由は、また、法面工事の際、植樹等は検討しなかったのか。

災害対策事業について

問 コロナ禍の経験を生かしたという避難所運営の取り組みを伺う。

答 各避難所では、開設時にアルコール消毒液や非接触型体温計など感染症対策物品を配備することとしており、発熱者が避難した際の受入れ方法や発熱者専用スペースを設けることなども運営マニュアルに明記している。総合防災訓練等で実効性を確認し、コロナ禍の経験を風化させないよう有事の際の開設・運営に生かしたい。

窓口業務の委託について

問 委託の効果について伺う。

答 窓口、印鑑登録など

獲得を目指す事業。令和5年度は、ターゲット層の消費者目線に沿った地域の観光資源の優先順位づけ等を行うためのアンケート調査と、同時並行で事業者ヒアリングを実施、両者を結びつけ精度の高いモデルコースを作成。次に、モニターツアーとワークショップを実施、生の声をもらうことでコースの磨き込みを行った。

高齢者デジタルデバイス対策事業について

問 事業の成果と評価を伺う。

答 高齢者の情報格差解消を目的に、スマートフォン未所有の高齢者に約5か月間無料で貸与するもので、令和5年10月からの第1クールには19名が参加。体験後の成果として、スマートフォンを所有された12名のうち11名が電話やブラウザ検索、LINEを初めとする各種アプリ機能などを有効活用しており、また、スマートフォンにより親族との連絡頻度が増加したなどの感想も得ている。

福生・羽村・瑞穂地域の魅力を結ぶプロジェクト協議会について

問 事業の内容を伺う。

答 2市1町の認知度向上と新たな交流人口の

の修繕等、園児の安全を守る取り組みを支援するために幼稚園や保育所に交付した。この補助金により、全ての該当車両に安全装置が設置されたほか、見守りカメラの設置、ベビーセンサーの購入、職員間の情報共有のための通信機器の購入等に役立てられた。

福生第二号踏切改良事業について

問 令和5年度の工事内容と進捗率を伺う。

答 令和5年度の工事内容は、新たに歩道を設置する際の支障となる鉄

体育健康教育推進校事業について

問 2年間の取り組み内容と効果を伺う。

答 東京都教育委員会からの委託により福生第一中学校で実施。研究では、保健体育科でのiP adを活用した体の動き

中央図書館改良事業について

問 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金を1億2700万円取り崩し充当したとのことだが、その内容と効果を伺う。

答 全額を備品購入費に充当。主に開架エリアの書架のほか、机、椅子等を購入した。書架の表面材には、主に多摩産材を採用、机や椅子も文化の森の景観と合うよう木製家具をそろえ、利用者からも快適であるなどの評価を得ている。



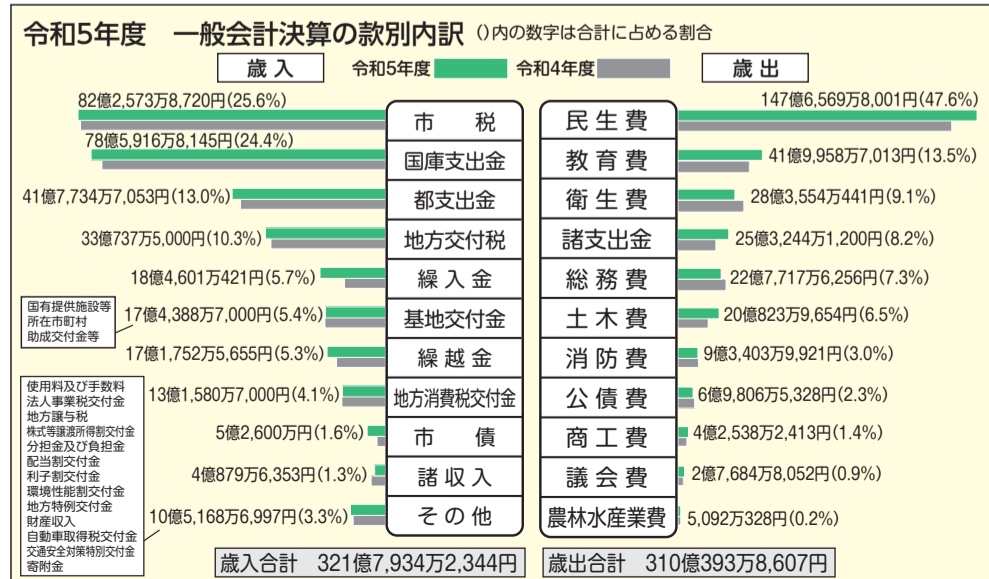
▲令和5年度一般会計決算を起立多数で認定

令和5年度 会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
一般会計	32,179,342,344	31,003,938,607	1,175,403,737
特別会計			
国民健康保険特別会計	6,696,887,604	6,440,030,992	256,856,612
介護保険特別会計	5,177,399,156	4,965,058,649	212,340,507
後期高齢者医療特別会計	1,499,220,808	1,475,034,345	24,186,463
総合計	45,552,849,912	43,884,062,593	1,668,787,319

下水道事業会計

	収入決算額	支出決算額
収益的収支	1,520,407,493	1,327,963,537
資本的収支	317,278,824	805,577,990



議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

録画映像をご覧ください



※1名欠席

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	生活者ネットワーク	立憲民主党	日本維新の会	議決結果
市長提出議案								
議案第39号	福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○※	○	○	○	○	○	可決
議案第40号	福生市印鑑条例及び福生市手数料条例の一部を改正する条例	○※	○	○	○	○	○	可決
議案第41号	福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○※	○	○	○	○	○	可決
議案第42号	福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○※	○	×	×	×	○	可決
議案第43号	令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)	○※	○	○	○	○	○	可決
議案第44号	令和6年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○※	○	○	○	○	○	可決
議案第45号	令和6年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○※	○	○	○	○	○	可決
議案第46号	令和5年度福生市一般会計決算認定について	○※	○	×	○	○	○	認定
議案第47号	令和5年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について	○※	○	×	○	○	○	認定
議案第48号	令和5年度福生市介護保険特別会計決算認定について	○※	○	×	○	○	○	認定
議案第49号	令和5年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について	○※	○	×	○	○	○	認定
議案第50号	令和5年度福生市下水道事業会計決算認定について	○※	○	○	○	○	○	認定
議案第51号	福生市教育委員会委員の任命について	○※	○	○	○	○	○	同意
議案第52号	福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○※	○	○	○	○	○	同意
委員会提出議案								
委員会提出議案第1号	多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書	○※	○	○	×	○	×	可決

可決等された案件(要旨)

●福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

生活保護法及び児童手当法の一部改正に伴い、個人番号利用事務及び特定個人情報に関する規定を整備するため、条例を改正するもの。

●福生市印鑑条例及び福生市手数料条例の一部を改正する条例

市役所に証明書等のコピーニ交付に対応した多機能端末機を設置することに伴い、個人番号カードによる印鑑の登録証明の申請に関する規定を追加するほか、関係する規定を整備するため、条例を改正するもの。

●福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、寄附金税額控除に関する規定及び同法附則第15条第25項第2号の条例で定める割合に関する規定を整備するとともに、公益法人等に係る市民税の課税の特例に関する規定を削除するほか、引用する規定を整理するため、条例を改正するもの。

●福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

令和6年12月に現行の被保険者証が廃止されることに伴い、国民健康保険法の一部改正がされることから、罰則における被保険者証に係る規定を削除するとともに、引用する規定を整理するため、条例を改正するもの。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)

歳入では、普通交付税及び前年度繰越金などの増額、歳出においては、多文化キッズサロン設置工事や定期接種として実施される新型コロナウイルスワクチン接種事業などのほか、令和5年度の精算に伴う国庫補助金等を返還するため、歳入歳出それぞれ13億2285万2千円を追加、総額を371億4226万6千円とするもの。

主な歳入は、額の確定に伴う普通交付税1億2907万4千円のほか、令和5年度決算に伴う前年度繰越金10億721万3千円。

歳出では、児童福祉費6561万6千円が、武蔵野台児童館に多文化キッズサロンを設置するための工事などの費用や、とうきょうすくわくプログラムに基づく活動を実践する保育所等への支援など。生活保護費1億841万円が、生活保護シ

STEM改良委託料や令和5年度精算などにより生じた国及び都への返還金。保健衛生費8207万7千円が、新型コロナウイルスワクチン接種事業など。基金費10億5131万5千円が、財政調整基金積立金と今後の建設事業等に充当するための、まちづくり施設整備基金積立金など。

●令和6年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

令和5年度の決算に伴い、繰越金、保険給付費等交付金の精算等の実施のため、歳入歳出それぞれ2億5685万5千円を追加、総額69億7438万6千円とするもの。

●令和6年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

令和5年度の介護給付費等の確定に伴い、介護保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金及び一般会計からの繰入金等の精算のため、歳入歳出それぞれ2億1364万9千円を追加、総額56億6735万3千円とするもの。

●令和5年度福生市一般会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正11回を加え324億9764万6200円。歳入決算は321億7934万2344円、前年度比6・8%の増。歳出決算は310億393万8607円、前年度比9・1%の増。予算現額との差は14億9370万7593円、執行率95・4%。歳入歳出差引残額は11億7540万3737円、前年度比31・6%の増。財政力指数は0・719で、前年度比0・002ポイントの増。経常収支比率は88・5%で、前年度より3・9ポイントの増。

●令和5年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を加え70億4511万8千円。歳入決算は66億9688万7604円、前年度比0・6%の減。歳出決算は64億4003万992円、前年度比0・5%の増。歳入歳出差引残額は2億5685万6612円。

●令和5年度福生市介護保険特別会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を加え54億9820万8千円。歳入決算は51億7739万9156円、前年度比3・4%の増。歳出決算は49億6505万8649円、前年度比3・1%の増。歳入歳出差引残額は2億1234万507円。

●令和5年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

予算現額は、当初予算に補正1回を加え14億9859万7千円。歳入決算は14億9922万808円、前年度比1・2%の増。歳出決算は14億7503万4345円、前年度比1・3%の増。歳入歳出差引残額は2418万6463円。

●令和5年度福生市下水道事業会計決算認定について

収益的収入及び支出の収入決算は、15億2040万7493円で前年度比1・6%の増。支出決算は、13億2796万3537円で前年度比ほぼ同額。資本的収入及び支出の収入決算は、3億1727万8824円で前年度比56・0%の減。支出決算は、8億557万7990千円で前年度比36・9%の減。

●福生市教育委員会委員の任命について

新藤美知子委員の任期満了に伴い、新たに林宣之氏を任命することに同意するもの。

●福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について

佐藤正明委員の任期満了に伴い、新たに佐藤裕明氏を選任することに同意するもの。



行政視察報告

今後の議会運営の参考にするため実施した先進市視察について報告します。視察報告書の全文を市議会ホームページに掲載しています。※右のQRコードよりご覧いただけます。



横田基地対策特別委員会 令和6年5月14日(火)～15日(水) 視察先: ①北海道千歳市 ②航空自衛隊千歳基地

①千歳市の基地対策について

千歳市の人口の約25%を自衛隊員及び家族が占めており、自衛隊と共存共栄のまちづくりが進められている。在日米軍再編に係る訓練移転問題への対応では、住宅防音工事の推進、騒音障害の著しい区域からの住民移転や関係機関による連絡協議会の設置、市の要望を踏まえた地域振興策が実施された。

②航空自衛隊千歳基地について

現地視察を行った第2航空団は、航空自衛隊として最初にできた戦闘航空団であり、F-15(イーグル)戦闘機部隊である第201及び203飛行隊の2つの飛行隊を保有し、北部日本全空域での領空侵犯に対する対処などを任務としている。緊急発進(スクランブル)は、近年減少しているが24時間体制で対応している。また、近年は自衛隊員の減少により部隊運用が難しくなっている。



航空自衛隊千歳基地にて

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆不採択
○ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書提出を求める陳情書(6-12号)
(不採択理由)
国において、ガザ地区における人道状況の改善と速やかな停戦の実現を求める決議が可決されたこと。また、地方自治法第99条に該当しないことから、意に沿い難い。

○三垂彦さんの早期救出を求める意見書「提出等」を求める陳情書(6-4号)
(不採択理由)
陳情者の訴えることが真実であれば大変な人権侵害であるが、事実関係や逮捕理由について判断し得る基礎データがないことから、意に沿い難い。

○民間建築物に係る石綿(アスベスト)等含有調査への助成制度を求める陳情書(6-15号)
(不採択理由)
全ての民間建築物を調査対象とすると、対象数が膨大となり、その全てに対し調査への助成を行うことは現実的ではないことから、意に沿い難い。

○マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を図るよう国への意見書提出を求める陳情書(6-6号)
(不採択理由)
医療機関の休業の背景は、経営者の高齢化や後継者不足等であり、マイナンバーカードが原因とはいえない。また、保険証を登録していない人へは資格確認書が発行され、これまでも同様の取扱いであることから、意に沿い難い。

討論

●令和5年度福生市一般会計決算認定について

■賛成
行財政運営については、市の財政力を十分に活用し切っていないのではないかと。今も市民に活用され、大きな役割を果たしている公共施設を、今後20%も削減しようとしていること。市の重要課題である人口減少、特に、子どもとその親世代の減少に対して効果的な施策がなかったこと。市民生活を支え、地域振興にも重要な貢献をする地域公共交通の整備が検討されなかったこと。横田基地への対応については、高度飛行や航跡図計の設置、ローター機飛行回数調査、横田基地返還跡地利用構想がないこと等から、本決算に反対する。

■賛成
令和5年度決算は、コロナ禍が区切りを迎えたが、ロシアによるウクライナ侵攻等による物価高騰が市民の暮らしにも影響を及ぼし、物価高騰対策事業に多く取り組んできたことが確認できた。

令和5年度は、アフターコロナ、ウィズコロナの生活が本格的にスタートしたが、行政改革では、本市の特性にマッチしたDXを推進し、包括連携協定に基づくBPRの実施など、「新しい力」との共創」の視点からも大きな成果を上げたことが確認できた。

教育行政では、不登校対策において支援の充実が図られ、市内の幼稚園、認可保育園、認定こども園17園との包括連携協定を締結し、幼保小の円滑な接続を推進され、中央図書館を改修し西多摩初となる電子図書館を開館するなど「生涯を通じて学ぶ、知の拠点」が整備されたことなどから、本決算に賛成する。

令和5年度は、エネルギーや食料品価格の高騰など物価高騰に対応するための予算が多く組まれ、新型コロナウイルス感染症対策から物価高騰対策へと対応の変化した年であった。

窓口業務の一部を民間事業者へ委託するなど適切に業務の効率化を図れたこと、校内設置の学童クラブとふっさつ子の広場で異なる事業者があるという課題の改善やコミュニティ・スクールの充実など社会の変化や課題解決のために組織を見直し対応したこと、教育行政において多様な子どもたちに寄り添う事業について審査を通して確認できたことなどから、本決算に賛成する。

令和5年度は、生活に困窮された方々への支援、物価高に苦しんでいる低所得世帯に対しての支援を、スピード感を持って対応したことを確認した。

子どもや子育て世帯に対する支援については、給食費などの費用を値上げしないため、保育所、幼稚園等に対し、補助金を交付して間接的な保護者負担の軽減を行ったことが確認できた。高校生等医療費助成事業では、所得制限を設けず実施したことを確認できた。

不登校対策では、校内別室指導支援員の配置を高く評価することなどから、本決算に賛成する。

ロシアによるウクライナ侵攻などにより発生した物価高等に対応して予算執行された決算であった。

ICTやAIの活用により業務の効率化を目指し、ふっさ電子図書館の開設によりデジタル面での市民サービスの向上を確認できた。

高齢者デジタルデバイス対策事業では、スマートフォンを身近に感じたり、外出先での調べ物が便利になったりとの意見を確認できた。

不登校の児童・生徒対策では、メッセージカードの交換や、iPadの掲示板機能を活用して、互いを認め感謝を伝える取組を確認できたことなどから、本決算に賛成する。

そのほか次の議案等に対しても討論がありました。

●福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

●令和5年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

●令和5年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

●ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書提出を求める陳情書

●民間建築物に係る石綿(アスベスト)等含有調査への助成制度を求める陳情書

●マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を図るよう国への意見書提出を求める陳情書

●多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

9月17日に委員会が開かれ、2件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は、不採択となりました。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(建設環境委員会所管分)
問 空き家住宅除却助成金の申請、相談状況等を伺う。

答 当初予算で戸建て住宅11棟分と共同住宅3棟分の630万円を計上し、戸建て住宅12棟、共同住宅3棟の合計15棟分の申請相談があり、更に戸建て住宅4棟分の相談があったことから、合計額755万円の不足分を補正予算として計上した。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(建設環境委員会所管分)
問 空き家住宅除却助成金の申請、相談状況等を伺う。

答 9月18日に委員会が開かれ、8件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は、不採択となりました。

●福生市印鑑条例及び福生市手数料条例の一部を改正する条例

問 窓口で印鑑証明書を取得する場合、マイナンバーカードの提示でどのように変わるのか伺う。

答 マイナンバーカードの顔写真を含む券面情報にて本人確認を行い、電子証明書が有効なものかを確認した上で、証明書を交付するものである。

●福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 この条例の改正は、令和6年12月2日に保険証が廃止されることを前提とした改正ということでしょうか。また、今回の改正で被保険者への影響はあるのか伺う。

答 その通りである。また、本改正による被保険者への影響はない。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(市民厚生委員会所管分)
問 新型コロナウイルスワクチンの接種方法で、医療機関での個別接種では予約が必要か伺う。

答 医療機関の中には、予約が不要とされているところもあるが、ご自身で指定医療機関へ連絡し、接種の予約を取っていたり、予約の可否情報については、市ホームページの医療機関一覧や10月1日号の市広報を確認してほしい。

●令和6年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
問 国・都支出金返還金の内容について伺う。

市民厚生委員会

9月18日に委員会が開かれ、8件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は、不採択となりました。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(市民厚生委員会所管分)
問 新型コロナウイルスワクチンの接種方法で、医療機関での個別接種では予約が必要か伺う。

答 医療機関の中には、予約が不要とされているところもあるが、ご自身で指定医療機関へ連絡し、接種の予約を取っていたり、予約の可否情報については、市ホームページの医療機関一覧や10月1日号の市広報を確認してほしい。

●令和6年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
問 国・都支出金返還金の内容について伺う。

答 国への返還金は、健康保険組合等出産育児一時金臨時補助金返還金であり、東京都への返還金は、医療費分として普通交付金分及び保険者努力支援金、特別調整交付金、都繰入金、特定健康診査

等負担分である。いずれも予算額で交付され、決算において実績が確定したことによる返還金である。

●令和6年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
問 積み立て後の基金の総額について伺う。

答 介護給付費準備基金積立金の額は、令和6年度末の基金残高を8億6255万853円と見込んでいます。

●令和5年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

問 介護給付適正化事業の取り組みと成果について伺う。

答 介護保険法に基づき、市内の介護サービス事業所のうち11事業所に対し実地検査を行った。成果としては、介護給付対象のサービスの質を確

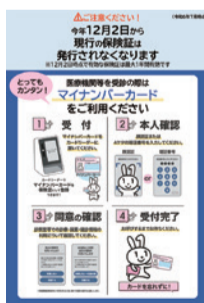
保した改正ということではないか。また、今回の改正で被保険者への影響はあるのか伺う。

答 その通りである。また、本改正による被保険者への影響はない。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(市民厚生委員会所管分)
問 新型コロナウイルスワクチンの接種方法で、医療機関での個別接種では予約が必要か伺う。



▲除却前の空き家



マイナンバーカードの健康保険証利用に関するリーフレット

総務文教委員会

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(総務文教委員会所管)

保し、保険給付の適正化に寄与することができたと考えている。

●令和5年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について
健康増進事業では、令和4年度比較で、利用者が増えている。要因について伺う。

●近隣の温泉入浴施設の利用補助であり、対象者は、福生市の後期高齢者医療制度の被保険者である。利用者の増加は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した影響や、団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行し、比較的若い被保険者が増えていることなども一因と考えられる。

●保険料軽減措置負担金について、被保険者の保険料負担への効果について伺う。

●東京都後期高齢者医療広域連合では、被保険者から徴収する保険料の対象経費となっているものに対し、特別対策として、市区町村による一般財源を負担することで保険料率上昇の抑制を図っている。福生市の負担は4447万4631円で、令和4年度、5年度の保険料では、2年間で約224億円を62市区町村の一般財源から投入することで、年間の平均保険料額を5877円引き下げる効果となっている。

9月19日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情2件については、不採択となりました。

●福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
生活保護法の一部改正について、どのような理由で改正されたのか、改正の背景を伺う。

●生活保護受給世帯の子どもが大学に進学する場合は、進学準備給付金が支給されている。しかし、就職する場合には支援がなかったため、進学・就職準備給付金と改め、就職者への給付も含めて支援の均衡を図ることとした。

●福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例
固定資産税の減額制度における特定バイオマス発電設備の減額割合について伺う。

●わがまち特例に規定されている減額割合については、国が定める参酌割合を適用しており、特定バイオマス発電設備に関する一般木質・農作物残さ区分についても国の参酌割合を適用して7分の6とした。

令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
小学校における教科担任制の取り組みについて伺う。

●小学校高学年における専門性の高い教科指導を実現し、中学校教育への円滑な接続が期待できる。また、複数の教員で全学級を指導することにより、多面的・多角的な児童理解の促進が図られる。

●航空自衛隊横田基地に隣接する火薬庫の整備を計画。令和9年度以降に工事予定。

●国有提供施設等所在市町村助成交付金等に関する要望について
①交付金の増額②対象資産の範囲の拡大・拡充③対象資産の早期提供合意④調整交付金の対象資産の明確化など、4項目について要望した。

●航空自衛隊横田基地に隣接する火薬庫の整備を計画。令和9年度以降に工事予定。

●航空自衛隊横田基地に隣接する火薬庫の整備を計画。令和9年度以降に工事予定。

特別委員会 活動から

●横田基地対策 特別委員会
9月20日に委員会が開催され、2件の議題について審査しました。

●横田基地に関する情報等について
第374空輸航空団司令官交代式で、令和4年に着任のアンドリュース・L・ラダン大佐からリチャード・F・マックエルフ大佐に交代した。

●航空自衛隊横田基地に隣接する火薬庫の整備を計画。令和9年度以降に工事予定。

●国有提供施設等所在市町村助成交付金等に関する要望について
①交付金の増額②対象資産の範囲の拡大・拡充③対象資産の早期提供合意④調整交付金の対象資産の明確化など、4項目について要望した。

●航空自衛隊横田基地に隣接する火薬庫の整備を計画。令和9年度以降に工事予定。

●航空自衛隊横田基地に隣接する火薬庫の整備を計画。令和9年度以降に工事予定。

各種委員等の交代について

●委員長の辞任等に伴い、新たに就任しました。

●総務文教委員会委員長 正司 哲哉
●議会運営委員会委員 仲間 正司
●福生病院企業団協議会議員 森田 哲哉

●委員長の辞任等に伴い、新たに就任しました。

●委員長の辞任等に伴い、新たに就任しました。

●委員長の辞任等に伴い、新たに就任しました。

●委員長の辞任等に伴い、新たに就任しました。

ケーブルテレビによる議会中継

●多摩ケーブルネットワークでも本会議の生中継を放映します。ぜひご覧ください。

●音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジタイズしたCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

●ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

●議会事務局 ☎042-551-1523
●専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

●専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

●専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

ご利用ください! 市議会インターネット中継

●パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも視聴できます。議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じいただけます。ぜひご利用ください。

●配信内容
●本会議のライブ映像と録画映像
●利用方法
●福生市公式ホームページ「福生市議会」
●「インターネット中継」よりアクセス

●福生市議会インターネット中継

●福生市議会インターネット中継

●福生市議会インターネット中継

●福生市議会インターネット中継

令和5年度福生市議会における個人情報保護制度の運用状況

●福生市議会の個人情報の保護に関する条例第53条の規定により次のとおり公表します。制度の詳細はQRコードからご覧いただけます。

▼個人情報ファイル簿等の件数

区分	個人情報ファイル簿	個人情報目的外利用登録簿	個人情報外部提供登録簿
件数	4	0	0

▼保有個人情報の開示請求等、個人情報保護審査会の状況
保有個人情報の開示請求、訂正請求、利用停止請求はありませんでした。また、福生市議会の個人情報の保護に関する条例第47条(審査会への諮問)及び第52条(審査会への審議に関する諮問)に該当する事案はありませんでした。

●保有個人情報の開示請求、訂正請求、利用停止請求はありませんでした。

●保有個人情報の開示請求、訂正請求、利用停止請求はありませんでした。

編集後記

●今年の夏は東京でも猛暑日が20日を数えた暑い夏でしたが、季節は巡るもので、秋も徐々に深まって来ました。

●今年定例会において、令和5年度一般会計と特別会計等の決算審査が行われ、全て認定されました。

●厳しい財政状況の中、物価高騰対策や福祉バスの1コース増設、中央図書館のバリアフリー化など、市民サービス向上のため、多くの事業が行われたことが確認できました。

●現在、議会運営委員会において、福生市議会基本条例及び福生市議会議員倫理条例の制定を議会改革の主なテーマとして取り組み、活発に議論が進んでいます。

●10月29日から2日間、那須塩原市と会津若松市へ議会運営委員会の行政視察を行い、両条例の制定までの取り組みや運用について、先進市からさまざまな学ぶことを期待しています。

●その他、3つの常任委員会で行った行政視察を行い、他の自治体の先進的な施策や成功事例を研究し、それぞれの課題解決に役立つようしっかりと学んでまいります。

●そして、これからも市民の皆さまのご期待に沿える議会となるよう精進してまいります。

次回定例会(令和6年第4回)のお知らせ(予定)
ぜひ、傍聴にお越しください

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3 一般質問	4 一般質問	5 一般質問	6 一般質問	7
本会議 午前10時開会						
8	9	10	11	12	13	14
常任委員会 午前10時開会						
15	16	17	18	19	20	21
議会運営委員会 午前10時開会						
本会議 午前10時開会						

会期：令和6年12月3日～12月20日
※会期中に特別委員会が開催される予定です。※日程は変更になることがあります。
議場には、補聴器をお使いの方、高齢等で聴き取りにくい方のために音声を送るヒアリンググループを導入しています。